

\\ 笑顔とがんばりの町 //

広
報

おのまち

2023

1

No.719





認定こども園の子どもたちが
今年の干支「うさぎ」のポーズ。
皆さん元気で笑顔あふれる一
年となりますように。



子どもたちが抱っこしてい
るうさぎのぬいぐるみは、
先崎 千代美さん(横町)から
いただいたものです。毎年
干支のぬいぐるみをいただ
き、ありがとうございます。

広報おのまちは



iOS用



android用



で配信中!

- 02 INDEX / 応援商品券は期限までにご使用ください
- 03 第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会
- 04 年頭のごあいさつ
- 06 百歳賀寿 / おのまち文化財ウォーク / 消防団防災訓練
- 07 第13回田村地方交通安全大会 / 親子木工教室
- 08 民生委員一斉改選
- 10 寿大学現場学習 / ご寄付ありがとうございます
小野町LINE公式アカウント友だち募集中!
- 11 おのまち地域おこし協力隊活動記
- 12 おのまち認定こども園通信
- 13 小野小通信 / 小野高通信
- 14 高齢運転者自動車急発進防止装置設置費用助成 / 「女性一日なんでも相談所」開設 / し尿汲み取り
- 15 マイナンバーカードの休日・延長窓口を開設
- 16 所得税・住民税申告相談のお知らせ
- 18 国民年金コーナー
- 19 ふるさと文化の館情報
- 20 みんな笑顔で健康づくりコーナー
- 22 公立小野町地方総合病院からのお知らせ / 地域包括支援センターからのお知らせ
- 23 夜間診療所当番医・休日当番医
- 24 各種健診・教室日程
- 25 食品放射能測定結果 / 上水道水質検査結果 / おくやみ申し上げます / 町の人口と世帯数 / 町税など納期のご案内
- 26 町が所有する土地をお売りします

～期限までにご使用ください!～



町では、コロナ禍における原油価格・電力・ガス・物価高騰などに対する経済対策として、昨年8月と12月に応援商品券を配布しております。期限が過ぎると利用ができませんので、お手元の商品券を確認し、それぞれ期限までにご使用ください。

どちらも町民1人 3,000円分(商品券500円 × 6枚)配布しています。

8月配布



こちらの商品券は
令和5年1月8日まで
使えます

12月配布



こちらの商品券は
令和5年1月31日まで
使えます

問産業振興課 ☎72-6938

粘りの走りで 小野町チーム総合40位 第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

(敬称略)

第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が昨年11月20日、しらかわカタールスポーツパーク(白河市総合運動公園)陸上競技場から福島県庁(福島市)までの16区間、95キロメートルで繰り広げられました。

小野町チームは中学生・高校生の活躍が光り、徐々に順位を上げる粘りの走りでタスキをつなぎ、総合40位(町の部20位)の成績を修めました。

レース後、吉田正宏監督は「選手一人ひとりの力を発揮した良いレースでタスキをつなぎ、ゴールすることができた」と語っていました。

応援していただいた町民の皆さんに、紙上より厚くお礼申し上げます。選手をはじめ小野町チームの皆さん、本当にお疲れさまでした。

区間	距離	区分	選手名	記録
1	4.0	女子	先崎 百音	16分14秒
2	8.2	男子	村上 明真	25分23秒
3	5.8	男子	折内 玲牙	21分34秒
4	7.3	男子	清野 快斗	27分20秒
5	6.4	男子	菅原 卓	23分28秒
6	8.3	男子	大竹 雄大	30分33秒
7	5.4	中学男子	齋藤 遙人	19分44秒
8	4.1	中学男子	角田将太郎	15分33秒
9	3.0	中学女子	宗像 春華	13分52秒
10	9.3	男子	先崎 洋樹	30分44秒
11	3.9	女子	小島 礼成	17分56秒
12	7.0	男子	吉田 悟志	27分12秒
13	4.8	男子	吉田 政昭	18分21秒
14	5.7	男子	大和田就斗	22分58秒
15	3.4	女子	上遠野澄枝	14分18秒
16	8.4	男子	矢吹 恭叶	29分04秒
総合	95.0			5時間54分14秒



1_1区で力走する先崎百音選手 / 2_2区で12人抜きの力走を見せた村上明真選手(右)からタスキを受け取る3区折内玲牙選手 / 3_8区角田将太郎選手(左)からタスキを受け取る9区宗像春華選手 / 4_小野町チーム報告会の様子



持続可能なまちづくりにむけて

小野町長 村上 昭正

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまには、令和5年の輝かしい新春をご家族と共に健やかに迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、感染予防対策はもとより、生活支援対策などに全力で取り組み、新型コロナウイルス感染症の対応に終始した一年でありました。一方で、長引くコロナ禍において、明るい話題もあつた年でもあります。

小学生においては空手の全国大会出場、中学生においては柔道やフットサルのは全国大会出場に加え、英語弁論大会や少年の主張県大会への出場、高校生においてはとちぎ国体や放送コンテストの全国大会出場など、次代を担う子どもたちがスポーツや文化活動において素晴らしい活躍をされました。町といたしまして、「健康で元気な町」を発信し、明るい話題を提供するため、「健康づくり」や「eスポーツ」のブースの設置など、従来の催しに新たな要素を加えた「小町

ふれあいフェスタ」を3年ぶりに開催したところであります。寒さが続き、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が心配されますが、大切な家族や友人などを守るため、「基本的な感染対策の徹底」と合わせて「他にうつさない」行動をお願いいたします。令和5年は、新たな町の指針となる総合計画がスタートする年であります。新たな町の将来像に向け、基本目標の実現につながるさまざまな施策を、町民の皆さまと共に推進しながら魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。具体的には、町の宝である子どもが一人でも多く生まれ、健やかに育つよう、結婚から妊娠・出産・子育てに至るまで切れ目のない支援を推進するとともに、未来を担う人材として成長していくことができるよう、学校教育環境などの充実も図ってまいります。また長い人生を健康で元気に暮らすことができるよう、町民一人ひとりが自ら

の健康は自らつくるということを基本に、疾病予防などに向けたきめ細かな保健指導などを行うとともに、地域医療体制の充実を推進してまいります。さらに高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができよう、介護・福祉サービスの充実に加え、社会参加・生きがいづくりの促進にも努めてまいります。次に、大規模化・激甚化する災害から町民の生命や財産を守るため、消防・防災体制の一層の強化を図る一方で、自分の身は自分で守る「自助」や近所の人々と助け合う「共助」の取り組みも進めてまいります。各種産業の振興については、主要産業である農業の振興に向け、担い手の育成・確保に加え、6次産業化や発酵を切り口としたまちづくりを推進してまいります。また町の賑わい復活と経済活力の再生に向け、町内企業などへの経営継続と安定化への支援などに引き続き取り組んでまいります。そのほか急激な人口減少や高齢化により、複雑化・多様化する地域課題に町民自らが対応できるよう、行政区や隣組などの枠組みを超えた支え合う地域づくりの支援を推進してまいります。さらに新たなツールによる効果的な情報発信など、さまざまな手法を活用して町の魅力を発掘・創造し積極的に伝えることで、関係人口や交流人口の増加に努めてまいります。すべての分野において、当町の強みを生かしながら、「人」を大切に、「人」を育てるまちづくりを「みんな」で進め、町民一人ひとりが、将来に夢と希望を持ち、生きがいに満ちた人生を送ることができるよう目指すとともに、今年の干支「うさぎ」のように飛躍できるように、町民の皆さまと共に新しい時代を切り拓いてまいります。結びに、本年が皆さまにとりまして、健康で素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新たな年に

小野町議会議長 田村 弘文



明けましておめでとうございませう。町民各位におかれましては、ご家族と共に輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より議会活動に特段のご指導とご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大が引き続き全国的に蔓延する中で、昨年は地元医師会と町民各位のご協力により、感染拡大防止のためのワクチン接種が順調に推移し、また町民一人ひとりが基本的な感染対策に取り組んでいただいたことから、感染者が減少してきましたが、11月以降再び増加に転じ、第8波を迎えています。

またロシアのウクライナ侵攻に伴う政情不安が世界経済に大きな影響をもたらす、原油価格の上昇に伴う原材料価格の高騰、生活資材の相次ぐ値上げと私たちの生活に一層の厳しさを与えています。

このような状況の中、議会では町と共に、感染拡大防止対策の徹底とワクチン接種の円滑な取り組みを推

進し、物価高騰に伴う町民の皆さまの生活応援や事業所支援、農業者に対しての肥料高騰に伴う交付金支出など、国の交付金などを積極的に活用し、取り組んでまいりました。

また昨年は山形県白鷹町議会、東京都町村議会議長が行政調査のため小野町議会に来訪し、議会活動などについて意見交換を行い、小野町議会常任委員会においても埼玉県横瀬町とともきわ町、群馬県の下仁田町を訪問し、それぞれ町の施策などについて行政調査し、意見交換を行いました。

いま小野町では道路の改良、河川の改修などインフラ整備が急ピッチで進んでおり、街中および小野インター周辺が大きく変わるものと思われませう。一方、昨年4月より公私連携、幼保連携の認定こども園が民設民営で開園いたしました。幼児、児童、生徒の教育環境の施設整備がすべて整ったことにより、町が掲げる教育目標の実現に大きく近づくものと期待しています。少子高齢化、人口減少が進む中、町民の皆さまが安

全な環境で安心して快適に日常生活を送ることができ、持続可能なまちづくりを達成するには、町民、行政、議会の三位一体で対処することが必要であり、引き続き町民各位のご協力とご支援をお願いいたします。

私たち議員の任期も来年1月末で任期満了を迎えませうが、この3年間は新型コロナウイルス感染症の蔓延により大きく制約された中での活動でありました。今後は、残された任期の中で、町民皆さんの福祉向上のために、積極的な議会活動を通して町の課題に取り組み、小野町の将来像である「人も自然も元気 みんなの笑顔がかがやくまち」を実現するために取り組んでまいります。また地域の多様な民意を集約する議会の役割は大きいものであり、多様な人材が参画し、町民の皆さまに開かれた議会を実現するための活動をしてまいりますので、今後ともより一層のご協力とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに卯年が小野町の飛躍の年であることを願うと

ともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸、ご活躍をご祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

小野町議会

議長 田村 弘文

副議長 竹川 里志

議員

久野 峻 水野 正廣

宗像 芳男 吉田 康市

会田 明生 先崎 勝馬

緑川 久子 中野 孝一

會田百合子